

# 中島会場での質疑・応答及び意見交換

日時：平成 29 年 6 月 4 日（日）14 時～15 時 20 分

場所：中島総合文化センター 2 階 大会議室

## 1. 議会報告に対する質疑・応答（要旨）

### ①消防費について【文教消防委員会関係】

質 問	中島には常備消防がなく地元で組織する消防団が最前線で活動している。町内会費には消防団支援費が含まれているが、我々がそこまで負担しなければならないのか。また、中島で火災が発生した場合、松山からの消火隊が到着するまでの間は消防団が活動しなければならないが、消防団員は長靴で活動している状況である。例えば安全靴を支給するなど、離島・過疎地域の消防団ということも踏まえて装備を充実させて欲しい。
回 答	持ち帰り、市消防局と協議して後日回答する。 【後日回答】 消防団員の装備は、国が示す一定の基準に基づき安全性が保たれるものを配備しているが、長靴は踏抜き防止板に加え、平成 29 年度からはつま先芯タイプの長靴を採用しており、現在の貸与長靴は国の基準を満たしている。今後も現場の意見をしっかり受け止め、消防団員が活動しやすい装備の整備に努めたい。

### ②松山市愛顔っ子応援券について【市民福祉委員会関係】

質 問	中島の方は、紙おむつは店舗ではなく通信販売で買うことが多いので、応援券は通信販売にも対応して欲しい。
回 答	持ち帰り、市担当課と協議して後日回答する。 【後日回答】 市内の店舗で購入する仕組みとすることで、地域経済の活性化を図るもので、通信販売については対応していないものの、中島のファミリープラザトミナガで利用できるようになっている。

### ③松山スマートシティ推進事業について【環境下水委員会関係】

質問	太陽光発電パネルと太陽光発電遠隔監視システムを導入することによって、年間でどのくらい効率が良くなるのか。また、2,500万円もかけて整備するということが、2,500万円分の電気代を太陽光発電で補うにはどのくらいの期間がかかるのか。
回答	持ち帰り、市担当課と協議して後日回答する。 【後日回答】 今回導入するシステムは、「発電量」の把握（見える化）を目的としたものであり、システムの導入費用を太陽光発電でカバーする趣旨ではない。本市は、将来的には市内全域をスマートシティ化することを目標としているが、まずはコンパクトな地域での実証試験を行うために中島地域を先行モデルとして選定し、事業化したものである。

### ④空家対策推進事業について【都市企業委員会関係】

質問	空家の調査方法について、行政として、例えば“この地区はいついつ調査する”とかいった具体的な計画はないのか。また、629万円の予算の算出根拠を教えて欲しい。さらに、愛媛県は空き家率が全国ワースト2位ということなので、早急に対応して欲しい。
回答	持ち帰り、市担当課と協議して後日回答する。 【後日回答】 平成27年度に市内全域を対象とした「空き家実態調査（外観目視調査）」を実施し、市内全域で8,479棟が確認されている。現在は、実態調査の結果等を踏まえ、「(仮称)松山市空き家等対策計画」を策定中であり、平成29年度末の完成を目指している。予算の内訳は、報酬などの人件費や事務費の350万円と行政代執行の工事費250万円となっており、今後は、苦情・相談に対して現地の状況を調査するとともに、所有者等の特定に取り組み、随時、助言や指導等を行うこととしている。

⑤空家対策推進事業について【都市企業委員会関係】

質問	除去等の行政代執行の経費は、持ち主に請求するのではなく税金で賄うことになるのか。また、629万円という予算は何軒分の対応を想定しているのか。
回答	持ち帰り、市担当課と協議して後日回答する。 【後日回答】 行政代執行の費用は市が立て替えるが、最終的にはその費用は空き家の所有者から徴収することになる。また、空き家対策推進事業の予算629万円は総額であり、そのうち、行政代執行の費用としては250万円で概ね2棟分を準備している。

⑥生産者と消費者の絆づくり事業(農林水産まつり)について【産業経済委員会関係】

質問	農林水産まつりは年1回の開催だが、年に1回のイベントで生産者と消費者の結びつきがどこまで深まったと捉えているのか。
回答	農林水産まつりは元々は生産者のお祭りという側面から生産者と消費者の結びつきを強める方向にシフトして農林水産まつりの端が広がってきている。農林水産まつりは年に1回しかないが、秋には堀之内で県規模での農林水産物を集めたイベントも開催している。また、平成29年2月の農林水産まつりは食育フェスタと環境フェアを併催し、相乗効果を上げて来場数の増加に繋げている。

## 2. 意見交換での参加者からの意見や要望（要旨）

### 【第1グループ】

①	以前、全国初の試みとして野忽那島でのシーサイド留学を実施していたが、なくなってしまった。ぜひ、留学制度を復活させて欲しい。
②	鳥獣対策には今後も継続して力を入れて欲しい。特に、イノシシによるみかんへの被害が大きいことから、仕方なくみかん農家をやめてしまう人もいる。現在、やめてしまった後の支援がないことから、そのまま廃園状態となっているのでそうした方への支援を検討して欲しい。
③	中島には3つの学校が閉校となっているが、そのまま放置するのではなく、有効利用策を早急に考えて欲しい。また、有効利用していない（できない）理由を示して欲しい【後日回答】。
	島嶼部の廃校は、活用事例がある一方で、中島の廃校となった3小学校については、耐震性や老朽化などの課題から有効利用が進んでいない。今後、利用困難な建物の取り壊しも含めて有効利用策を検討していきたい。

### 【第2グループ】

①	議会報告会、特に意見交換は素晴らしい取り組みだが、次回はいつやるのか。
②	地元の小売店は、高いし商品も品数も少ないので選択肢が少ないため、結局市内で買い物をするか、通販を利用せざるを得ない。どうにかして欲しい。
③	大浦港のフェリーターミナルの2階がずっと利用されていない。アンテナショップやカフェなど何かに活用して欲しい。
④	捕獲したイノシシの解体処理をするのに、「市の施設は利用できない」と言われている。何とかならないのか。
⑤	中島の小中学校の学校給食には中島の食材（特に魚や野菜）を活用して欲しい。なぜ使わないのか。また、このことについて、中島の人ができることはないのか。【後日回答】
	ひじき、玉ねぎ、かんきつは中島産 100%となっている。その他の食材については、地元のを調達できるかについて、市担当課（保健体育課）で実現の可能性を調査研究している。
⑥	市内に通う子どもたちの船賃が高すぎる。部活に行くのも大変である。特に中学生が大人料金なのは何とかして欲しい。【後日回答】
	教育委員会主催の総合体育大会等へ参加する交通費の一部補助は行っているが、中島中学校のみを対象とした通常の部活動で遠征する際の交通費への補助は現在のところ困難である。
⑦	常備消防を整備して欲しい。

### 【第3グループ】

①	船賃を安くして欲しい。
②	空き家の所有者に対する対応方法について、空き家の取り壊し費用への補助はないか。
③	学校跡地などの市有施設を有効活用して欲しい。
④	年金受給者より生活困窮者の方がもらえる金額が多く優遇されているのではないか。
⑤	移住してくる時の家探しに、家具なども入ったすぐ住める空き家などを紹介して欲しい。
⑥	子ども用のおむつより高齢者用のおむつの方が必要なのではないか。
⑦	粗大ごみの持ち込みには料金はかかるのか。
⑧	太陽光発電で得られた電気は、災害時などに分配できるのか。

### 【第4グループ】

①	特定空家の認定について、行政は市民からの情報を待つだけではなく、町内会総代など、地域の実情をよく知る住民に働きかけをするなどして欲しい。「とりあえず」予算を付けるのではなく、正確な空き家情報を地域と協力してスピーディーに把握して欲しい。
②	中島保育園の一時保育受け入れ可能日が少なく、利用したい日に利用できない。保育士が少なく仕方がないかもしれないが、一時保育受け入れ可能日が月に数日では少なすぎるのでもう少し増やして欲しい。
③	合併後閉鎖された中島本島内の小学校や保育園、消防署など、使用していない市有施設の有効活用はできないのか。比較的港に近く、便利の良い場所なのにもったいない。また、大浦港の2階などは場所も良いのに空いているのはもったいない。喫茶店やコンビニなどはできないのか。
④	船賃がとにかく高い。特に車の運送代が高く、市内に車で用事がある人は、高浜などに月極駐車場を借りている。

### 【第5グループ】

①	住宅を取り壊すと土地の固定資産税が数倍になると聞いているが、特定空家を取り壊した時はどうなるのか。他の家屋と同様に土地の固定資産税を数倍にするのではなく、特定空家などの場合は減免するような制度や条例等を整備して欲しい。
②	イノシシの被害に関しては、市も様々な補助や手助けをしていただいているが、まだまだ足りない。制度や事業の拡充をして欲しい。
③	中島から松山に行く際は船賃の補助があるため、島民には便利だが、松山から観光や仕事で中島に来られる方には補助がないと聞いている。中島に来る方々にも船賃や車の乗船代などの補助を考えて欲しい。
④	通院等で中島から松山に行く際、月2回程度は船賃の補助が出るが、通院のみではなく、買い物をする際の補助も考えて欲しい。
⑤	船代が高く、便数も少ないので不便である。